

保育所サービス評価結果記入様式

大津市立比良保育園 (令和3年12月3日評価実施)

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報紙、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
「大津市の基準となる全体的な計画」に基づき、園独自の理念や基本方針・保育目標などを明確に示している。園だよりや園要覧、入園のしおり、市のホームページ等に記載して、保護者や地域へ広く周知している。また、入園説明会や継続保育説明会でも保護者へ説明している。行動規範は事務所に掲示している。職員は定期的な自己評価を行い、具体的課題を明確にして、園の保育方針をもとに改善策に取り組んでいる。園の保育テーマについては職員間で話し合い、園内研修の際に検証し見直しを行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
大津市として令和2年3月「大津市子ども・若者支援計画」のなかで『みんながつながり、ともに育ち合うまち 大津』という基本理念に基づいた令和6年度までの支援計画を策定している。大津市として今後5年間で重点的に取り組む6つの項目を設定して、具体的な目標数値を設定している。園長会において各園(民間の分も含め)の子ども数の動きを見ている。毎月開催されている園長会議で予算等の分析や配分を検討している。また、園独自で予算希望を出し「保育マット」等園に必要な備品を購入している。防犯カメラは金額的に難しいとのことであったが、子どもの安全を最優先に考えている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
「大津市子ども・若者支援計画」において、今後5年間の年齢人口の推移や合計特殊出生率等を分析し、公立保育園として今後取り組むべき課題設定や目標を明らかにしている。現場職員の意見で改善できることは計画に取り入れるように心がけている。現在、園舎は大規模な耐震工事中であり、暗くなると臨時の駐車場が暗く危険であるとの意見があった。照明器具を手配し迅速な対応を取っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
大津市として令和3年3月「市立幼稚園保育園の今後の方針について」が答申されている。それに基づき大津市立園の現状と課題等を検討している。検討された中・長期計画は園長会・幹部職員研修等で周知されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。

5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	中・長期計画の内容を反映した単年度の保育計画を策定している。園内研修としては「保育会議」、「職員会議」、「委員会・クラス会議・ねらい会議」等を定期的に開催している。公立保育園全体の会議として「代表保育士会」、「園長会議」が組織的に開かれている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	毎年度初めに「大津市の基準となる全体的な計画」に基づき、比良保育園「保育計画」「年齢別指導計画」を策定している。園長や幹部職員は、見直しされた情報を持ち帰り、担当を決めて職員会議で報告し、周知徹底が行われている。定期的に毎月開催の「保育会議」や「職員会議」等において現状の評価と組織的な見直しを行っている。具体例として、コロナ禍で通常は1日で行える保護者参加行事を、日数がかかるが、数回に分散して実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	「入園のしおり」や「園要覧」、市のホームページなどで事業計画や保育指導計画等を保護者へ周知している。コロナ禍の影響で保護者会は開催出来ていないが、年度末の継続保育説明会やクラス懇談会で説明し、可能な限り全保護者に対して説明するように努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	園の取り組みとして各クラスの保護者に向けた「クラス懇談会」及び個別懇談を実施している。懇談会で得た家庭の情報を参考に、3歳未満児では子ども一人ひとりの個別指導計画を作成している。職員は毎年「大津市保育士自己評価」様式に基づいて、全員が自己評価を実施している。自己評価において具体的課題を明確にして、計画的に改善策に取り組んでいる。保育計画は大変充実しており、独自の「ねらい会議」で評価などを実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員間で課題の共有化が図られている。
	代表保育士が中心となり、自己評価の結果を職員会議において共有化し、課題や改善策を全員で検討している。更に本課の方針や助言・指導により、改善策や改善計画を作成し実践している。その評価結果は協力者会議で文書化して報告している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	園長は、毎月の園長会議、関係機関等の会議に出席し、必要な伝達事項は保育会議等で職員へ周知している。職員一人ひとりと定期的に面談を行い、職員の意識統一を図っている。また、園長自らが必要と判断し、事務所会議を毎月開催している。事務所会議には代表保育士・地域担当保育士・保健担当者など各部署の担当者間で協議を行い、園全体の運営に活かしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。

11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	毎年、市担当課が中心となりコンプライアンス研修を開催し、職員の意識付けを徹底している。また、園長会議や代表者会などで得た福祉関連法等、遵守すべき法令の最新の情報は随時職員研修でも伝えている。具体的には、写真販売の業者選定には、市の要綱に基づき業者選定委員会が開かれ、業者選定のルール化を図り透明性が担保されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	園長は現場に入り保育に携わることで、職員と直接業務の中で話し合う場を設けている。また、個別面談を必要に応じて行い職員の意見や意向を細やかに聞き取り、職員の働き易さを叶えることで保育の質の向上へ繋げている。人事、労務、財務は基本市担当課が行っているが、園長もできる範囲の労務管理を把握し、職員のワークライフバランスには配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	公立であり、園長自らが経営課題を把握し改善につなげることは難しいが、園長会で把握した課題について意見を伝えている。具体的には物品の購入等園の予算内範囲で速やかに対応している。人員配置に関しては職員と面談し、本課にあげ見直しに繋げている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	公立保育園であり、採用計画や研修計画は市が行うが、人材の配置要請は提案している。地域特有の人材不足はあるが、手作りのチラシを市民センターに掲示したり、人間関係を活用し保育士の掘り起こしを行っている。職員のスキル向上のための研修等の充実を図り、働きやすい職場環境整備などで職員の定着を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等)に関する基準が明確に定められ、職員等に周知されている。
	人事評価は客観的評価ができるように、第一評価者は代表保育士(主任)等、第二評価者は(園長)、第三評価者は課が行うという仕組みが出来ている。人事評価制度で、各自が自分の目標を設定し、定期的に見直し自己評価している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がされている。		第三者評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	園長は人事のデータを参考にしながら、各職員に働き方のアドバイスを行っている。園長としては職員が働き続けられるよう「現場ファースト」を常に考えている。地域的に交通手段が不便なので時差勤務の組み方に配慮している。市のストレスチェックでは、精神的なストレスより身体的なストレスが大きいことが分かった。人間関係は良好であり本年度から業務のシステム化を導入、クラス記録などの事務量の軽減を図っている。忙しい中、園長は職員の健康には気配りしている。コロナ禍では親睦が図れていないが、職員の聞き取りでは「働きやすい職場」「ずーっとここで働きたい」等の声があった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	市として職員の対象別研修を設けている。経験年数に応じて個別の年間研修計画が作成され、希望すれば外部研修へも参加できる環境にある。また、人事評価の業務評価シートで個人目標を立て、年に2回の個人面談では、進捗状況や過程の振り返り、見直しを行う。評価は1次評価から3次評価まで、それぞれ評価者を代え実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。
	市担当課が作成・立案する年間研修計画に沿って、新任からベテランまでスキルやキャリアに合わせた研修が行われている。新任の時は特に研修が多い。経験年数に応じた必要な研修に参加できるようにしている。研修参加者による復命や伝達講習をととして、パートも含めた全ての職員が研修を受けられる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	本課で立案された年度ごとの研修計画に基づき実施している。外部研修も的確に情報提供を行っている。会計年度任用職員にも研修の機会が提供されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
		第三者評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生へのオリエンテーションは園長が行い実習目標の確認や注意事項をマニュアルで説明する。但し、実習担当者は代表保育士やクラス担任があたり、実習指導者としての研修を受けていない。本来は実習指導者研修を受講した者が実習指導にあたる方が望ましい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	公立保育所としての運営内容や財務等に関する情報は市のホームページで公開している。「大津市幼児教育・保育共通カリキュラム」「大津市子ども・子育て支援事業計画」「大津市立幼稚園・保育園のあり方の方針」など、様々な情報をホームページを活用し情報公開に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	事務・経理・取引等に関する権限や責任体制は本課が担っている。園内では事務所会議を開催、職員間の周知不足が無いように努めている。地域担当保育士や協力会議・第三者委員を配置・組織しており地域との関係づくりをしている。園内や本課での苦情・相談の体制も整っている。登降園時には意識的に保護者とコミュニケーションを図り、要望や相談をくみ取ることに注力している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	コロナ禍により地域との交流は難しくなっている。地域には園便りや保健便り、子育て支援事業を伝える「ひらっ子通信」や保育園の取り組みを掲載した「ほのぼのだよ」を配付している。また、子育て担当保育士が民生委員児童委員と一緒に全戸訪問を実施している。小学校からの出前授業を実施する計画もある。志賀北幼稚園とも同様の交流を行っている。近隣のスポーツ大学からの申し入れで、「キッズプログラム」を実施して貰っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	コロナ禍で制限は有りコロナ前の状態ではないが、以前は夏休みを利用してボランティアの大学生が来たことがある。中学生の職業体験の受け入れも行っている。各々に対し、園長がオリエンテーションを行い、注意事項や感染対策等、受け入れ時の説明を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	地域の協力者会議、幼稚園、市民センターと交流している。地域の幼稚園、小中学校との職員の交流も行っている。コロナ禍を加味し、従前からの取り組みを評価した。子どもの権利侵害が疑われる場合は、市の子ども家庭相談室と連携を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	現在、園庭としている農村広場が有事の広域避難場所になっているが、有事の場合の避難先や地域との取り決めが十分に整備されていない。災害時には地域との連携が必須と判断する。一方で、地域との世代間交流会を計画したり周辺の散策・ふれあい遊び・チューリップの球根植え等、地域の高齢者と園児との交流を図っている。AEDを設置し道路から見える場所に表示している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	地域を視野にした活動には常に注力している。コロナ禍でも、園の取り組みや家庭でできる遊びを地域に向けて発信したり子育て相談室として利用できることをPRしたりしている。民生委員児童委員と子育て担当保育士が全戸訪問を実施し、地域の福祉ニーズの把握に努めている。普段から地域の子どもの権利を護るために保育園の機能を有効活用しながら地域との連携を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとまらぬ地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	人権研修を定期的に行っている。園児への言葉遣いや態度を含め、日々子どもの成長を尊重した保育が出来るよう研修を行っている。プライバシー保護等の権利擁護については、大津市のマニュアルに則り、各行事の写真や氏名の公表についても保護者からの同意を事前に求めている。子どもを尊重した保育の実践については、園の方針として子どもの主体性を大事にするという形で貫かれている。また、障がいや年齢、性差、文化や言葉の違いについても、お互いを尊重する心を育てる活動を日常の保育の中で行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的な人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的な人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	大津市が策定したプライバシー保護マニュアルが整備されている。また、個人情報保護研修も実施している。現在、園舎の耐震改修工事により仮園舎で保育を行っている状況であり、当然施設環境の制約はあるが、園児の着替えや排泄時には年齢に応じたプライバシーや羞恥心への配慮に注意を払うことが求められる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。
	保育園の理念や基本方針、保育の内容や実践については、ホームページで誰でも閲覧することができる。また、園の見学希望者については、随時受け付けており、その時勤務の保育士の誰かが適宜対応することになっており、利用希望者が安心して見学できるよう手配している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	年度途中での担任替えについては事前に当該クラスにお便りを配布し、保護者へ伝えている。緊急対応時には保護者へ一斉メールを配信することで対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。【非該当】
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	現在は引継ぎ文書等は使っていない。必要時は変更後に電話で聞き取ることもある。また、小学校には、保育児童要録をもって引継ぎを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	大津市版第三者評価のアンケートを年1回保護者向けに実施している。アンケート結果は職員会議で集約・検討し、その対応策を保護者会で伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決窓口などの受付体制は、入園のしおりや玄関にも掲示されている。仕組みの説明は3月の継続児説明会や入園説明会で毎年している。また、苦情案件については必要に応じ保護者会で報告していますが、今後、大津版だけでなく園独自の保護者アンケートの実施や苦情解決の結果を個人情報に配慮した形で地域やホームページなどへ公表していくことが望まれる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	保護者の相談や意見は、その都度お便り帳を使ってやり取りしている。また、継続児説明会では第三者評価のアンケート結果の概要と対応策を保護者へ説明している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	「すくすくだより」には、『いろいろなご意見をお聞かせください』と題してご意見箱の写真を載せ、ご意見箱の設置位置や目的を丁寧に記載して、保護者へ意識づけを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	公立保育園共通の「危機管理マニュアル」に基づいた対応手順を整えている。実際のアクシデントについては「子どもの環境委員会」で問題点や改善点について検討している。その結果をデータ化して職員会議で共有している。毎月、様々な想定で避難訓練を実施しており、訓練の結果やマニュアルについては、その都度評価・見直しを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症の予防に関しては、保健担当職員を中心に、早い対応と感染予防に努めている。コロナ感染者が出た際は保健所との連携も図っている。「ほけんだより」を随時保護者向けに出し、コロナ感染症防止のための予防情報等を適切に告知している。感染予防策の一つとして現在ペーパータオルを使用している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	① 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	定期的に避難訓練などを実施しているが、今後は地域住民の参加を募り地域全体での災害対応の体制づくりに取り組んでほしい。緊急災害時を想定した引き渡し演習を保護者の協力を得て実施している。緊急時連絡網は年度ごとに更新している。保護者へは緊急時にはメール配信で連絡する。現在、仮設園舎だが「保育園防火防災計画書」を確認した。来年度より園舎への出入りチェック機能機器(登校園管理システム)を設置する予定である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	「大津市の基準となる全体的な計画」に標準的なサービス実施方法が記載されており、これを元に比良保育園としての具体的な計画が作成され、子どもの権利を大切にされた保育が実践されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的の実施されている。
	指導計画は具体的で、定期的に評価・見直しがされている。見直しには職員や保護者の意見等も反映されるものとなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	指導計画には年齢に応じた保育課程の年間目標と月・週目標が具体的に作られている。また、3歳未満児の計画の内容は個別の指導計画策定を前提としており、クラス別の具体的なニーズが計画に反映されている。必要に応じて子ども発達相談センターや、本課の巡回相談等との連携が図られている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育課程にもとづく、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	2歳児までは「個別指導計画」を作っている。全年齢で「発達の記録」を記載している。また、月案・週案の保育計画が作成されており、見直しにより適宜変更が行われていることを各種指導計画より確認できた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	「児童票」には園児一人ひとりの保育の経過記録が詳細に書かれている。保育会議は月1回定期的に行われ、職員間の情報共有を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	大津市の個人情報保護規定に基づいて実施されている。但し、保護者に交付する重要事項説明書に個人情報の取り扱いに関する記述を掲載する方が望ましい。個人情報保護について職員への周知は会議の中でしており、保護者会に提供する名簿等については保護者の同意を得ている。園児の記録等は鍵のかかる書庫に保管されている。また、子どもの写真を掲載する際は、大きく顔が映るものは載せないよう配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input type="checkbox"/>	カ 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

【内容評価基準】

Ⅳ-1 保育内容

Ⅳ-1-(1) 全体的な計画(保育課程)の編成		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画(保育課程)を編成している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画(保育課程)は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画(保育課程)は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	大津市の公立保育園共通の理念をもとに、同じ趣旨を維持した保育理念や基本方針を編成している。それを基盤にして、それぞれの環境や地域性を加味し、各園独自に保育の方針等に特徴を持った保育課程を編成し、編成の際には職員が参画し、定期的に見直し・評価を実施している。全体的な計画が編成されていることが望ましい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画(保育課程)は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画(保育課程)は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input type="checkbox"/>	オ 全体的な計画(保育課程)は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。

IV-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	子どもの年齢や一人ひとりの発達に応じて家庭と連携し、生活リズムの習得が出来るように保育している。午睡や活動についても日々の気候やコロナ感染状況を考慮して対応している。仮設園舎での保育のため施設設備面では不十分な箇所が多々あると思われるが、職員が様々な工夫をすることで、子どもには最小の影響のみで抑えられている様子が見て取れた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	同年齢でも個人差は有り、個々の特性を常に把握し、僅かな変化や、発言から子どもの成長を感じ取るように心掛けている。そのことにより個々の特性に配慮した保育を実践している。自分の思いを発信することが苦手な子どももいるので、表情や態度から図っている。言葉遣いには十分配慮している。言われて行動するより、ゆっくりでもいいので自分で考えて行動してくれるような保育を心掛けている。子どもの気持ちに寄り添う保育ができるよう研修等で研鑽を積んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	子どもの発達状況に応じて基本的な生活習慣を身につけることができるよう、具体的な工夫や配慮を行っている。トイレ・手洗い・遊具等の高さや、使い易さは、子どもの生活習慣の自立を促すように配慮されている。子ども自らが手洗いを実践したら一緒に喜びを分かち合っている。文字だけではなく、絵図で手洗い等を示して意識を持たせている。家庭の環境と園の環境との相違点にも配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	大津市の事故を教訓に、保育園前の道路を安全に横断できるようにルールを決めたり、交通安全教室で交差点教育を行った。子どもの自主性・自発性を引き出すような保育を実践している。指示して動くのではなく、自分から行動を起こすことを引き出している。人を思いやることのできる子どもを目指している。靴を揃える、うがい、手洗いなどの場面で、子どもが主体的に楽しんで生活習慣が身につくような掲示物を工夫している。また、生活活動だけではなく、保育園でのルールを守ることの大事さを分かり易く伝えている。年下の子に優しく接する姿も見受けられる。地域のお話しボランティアとの交流を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	透明マスクを装着し、保育士の表情や口元が見えるようにして、保育士との関係が良好になる工夫をし、保育にあたっている。子どもの表情や泣き声等にも気配りを怠らず、少しの変化も見落とさないようにして、安全性にも十分配慮されている。なんでも口で確認する年齢であり、玩具等周囲の清潔保持に十分配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 0歳児が、興味と関心を持つことのできる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。

52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	「触りたい」の気持ちを制止せず「かえる」等の自然には積極的に触れてもらう。さりげない動き掛けや声掛けで「やった!」と思える達成感を感じてもらっている。同年齢でも個人差はあるので、その子、その子に合わせた保育を大切にしている。出来なかったことが出来た時は、降園時のお迎えの保護者に報告している。子ども同士のいざござは有るが、双方が納得するように仲裁を行っている。心配される保護者には、安心されるような声かけを心掛けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中を仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	活動に入れない子どもには無理強いはしない。同年齢でも個人差はあるが、発達年齢に応じて保育計画を基本にしなが、保育を提供している。各自の発達状況に応じ、集団の中での遊びや活動を通じて、興味関心を持ってもらい、他者との関係性を構築し、一緒に一つのことをやり遂げる感を体験できるような保育を実践している。子どもの成長は保護者に日々伝え、小学校には双方で取り組みの情報を共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	仮設園舎のため園内は手狭ではあるが、障害のある子どもの状況に応じた環境の整備に務めている。障害の有無にかかわらず、子ども同士の関わりには配慮し、お互いに成長できるように保育している。研修計画にも盛り込まれており、保育士への適切な情報提供に繋がっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	18時以降の延長保育時間はパート保育士に保育を引き継いでいる。引継ぎは十分に行っている。長時間の在園(長い子どもは12時間)なので、延長時間はその子のやりたいこと、遊びたい遊びを一緒に探している。異年齢の子どもと一緒にゆっくりじっくり、子どもがやりたいことに取り組み、安心できる場づくりを行っている。発達年齢が様々な子どもが集まるため、年下の子どもに対する思いやりを自然と学んでいる。水分補給(お茶)はあるが、おやつ等の補食はない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

56	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	保育所児童保育要録を整備しており、小学校とは相互の取り組みの情報を共有しておりその情報を子ども達に伝えることで、就学への期待感を持ってもらい、スムーズに就学に移行できるように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	マニュアルは作成されており、特に乳幼児突然死症候群対策として、5分に1回の目視と体動センサーによるチェック、体位変換等の対応を実施している。保健指導計画も作成しており、与薬には指示書を買っている。「保健だより」で子どもの健康に関する情報を保護者に向け発信している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
58	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	記録も整理されており、家庭へは結果の報告をしている。歯を大切にしよう、子どもに意識付けしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	天津市立保育園におけるアレルギーガイドラインに基づき、個別の対応をしている。保護者チェックを経て毎月の除去食会議で、次月のメニュー作成を行い、代替メニューを記載した表を保護者に配布しOKをもらう。アレルギー対応だけでなく、保護者からの申し出により除外する食材にも対応している。配膳間違い防止のため、食器やお盆の色を変えている。研修計画に盛り込み、職員に知識・情報を提供している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
IV-1-(4) 食事		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	保育計画には、各発達年齢に応じた目標が明文化されていた。食事委員会では、「食べたい!食べたぞ!大きくなった!」～食への関心を広げよう～をテーマに掲げ、様々な取り組みを行っている。具体的な取り組みとしては、野菜栽培を通じて、収穫した野菜を使用したメニュー(カレーづくり)や、季節に応じたおやつにして、美味しく味わうことができた。家庭に向けて「園だより」で報告している。普段家では好き嫌いをして食べない物も、園では食べる子どももいる。仮設園舎になってからは、調理室がより近くなり、調理職員との交流も増えた。摂取量を完食○、△等の表現で食欲を把握し、保護者に伝える。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。

61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
食育計画には各発達年齢に応じた「ねらい」と「内容」が明文化されており、0歳児には個々に応じた離乳食の実施、3歳児～5歳児には、食事姿勢や箸の持ち方等、より具体的に明文化し、各自に合わせた食事の提供（量、除去食等）をしている。園内調理の環境を活かし、調理する姿や音、香り、等五感で感じてもらう。日本の伝統行事にまつわる由来や食文化を伝える取り組みを大切にしている。献立表の配布、毎日食材展示も行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)		
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
毎日の送迎時に保護者と情報を共有している。また保育や教育内容についてはクラス懇談会やクラス便りにて伝え説明を行っている。必要な情報は児童票に記録する。保護者に対し、子どもの様子や園の対応、考え方を連絡帳で伝えている。必要に応じて個人面談を実施、保護者のニーズ把握に務めている。相談内容は必要に応じて記録している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
IV-2-(2) 保護者等の支援		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)		
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
挨拶・声掛けを励行し、保護者とのコミュニケーションに働き掛けている。悩み相談などは丁寧に对应し、時には個人面談の機会を設ける。必要に応じて専門の機関の情報を提供したりする。保護者には、常に「何かあればお申し出ください」と伝えている。アンケートの記述に「一緒に子育てしてくれている気がする、有難い」の声があった。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
マニュアルにもとづき、家庭で虐待等権利侵害を受けている子どもを早期に発見するため、速やかに対応できるよう対応策を整えている。職員教育も研修計画に盛り込まれている。必要に応じて、市の担当課（子ども家庭相談室等関係機関）と連携を図る。虐待ではないが、生活サイクルが乱れがちなケースには、保護者に声をかけ、一緒に対応を考えている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづき職員研修を実施している。

IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者 評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)		
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
子どもの様子については、担任を中心に注意して把握している。保育士等は定期的な自己評価を行い、自らの保育を振り返ることで、保育の質の向上に繋げている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。